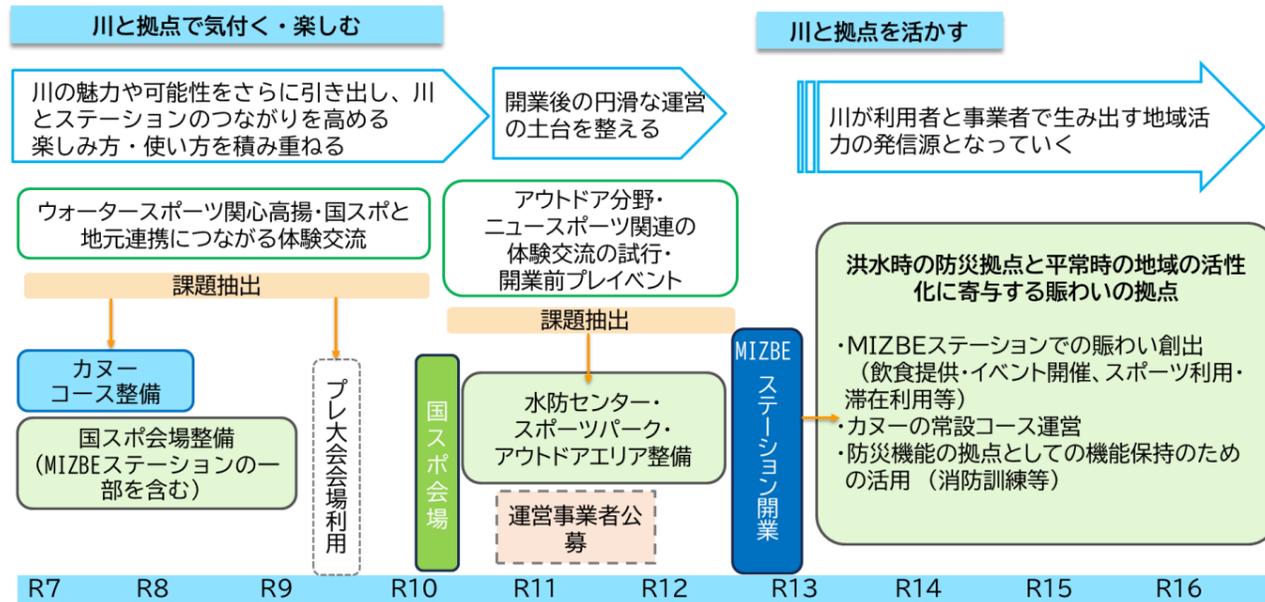


4. 実現方策

(1) 計画実現までの展開

令和10年の信州やまなみ国民スポーツ大会（以下、国スポ）でのカヌー競技会場、ビーチバレーボール競技会場として利用することなどを踏まえて段階的な実現を目指します。従来河川区域として管理され、地域住民・事業者の利用はされてこなかったエリアを活かし、新たに人を呼び込むために、事業の段階にマッチした社会実験を順次展開していく予定です。



(2) 拠点施設の運営方針

令和10年の国スポ開催までの期間は、カヌー及びビーチバレーの競技会場としての機能確保・運営に向け、町と競技関係者、共同検討者等の連携によりその先のMIZBEステーションの施設整備、運営にもつながる社会実験や活用方策の検討を進めます。

国スポ終了後の整備を経て供用する一帯の施設の運営・維持管理に関しては、特設カヌーコースを含むMIZBEステーションの運営を基幹事業と設定し、民間の専門的なノウハウを取り入れるため、指定管理者等の方式を採用する予定です。

	事業計画期間				
	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
運営事業体		官民連携による 利活用計画の検討		運営団体の決定	供用に向けた調整
社会実験等		社会実験等供用に向けた取り組み 例) 大会会場を利用した体験交流の試行等			



天竜川高森かわまちづくり計画 (第2期計画)

1. 計画の目指すところ

高森町下市田～山吹付近の天竜川の河川空間について、水辺空間の魅力づくりや利活用のあり方、観光資源としての可能性を視野に具体化し、水辺の新しい活用による美しい空間づくり、広大な空間を活かした賑わいの創出を持続的に実現することを目指しています。

2. 基本方針

基本方針1 川を楽しむ遊び場の整備

天竜川とその水辺環境を活用し、天竜川の雄大な流れや伊那谷の景色を楽しみながら、子どもからお年寄りまでスポーツやアクティビティを体験できる環境整備を行います。

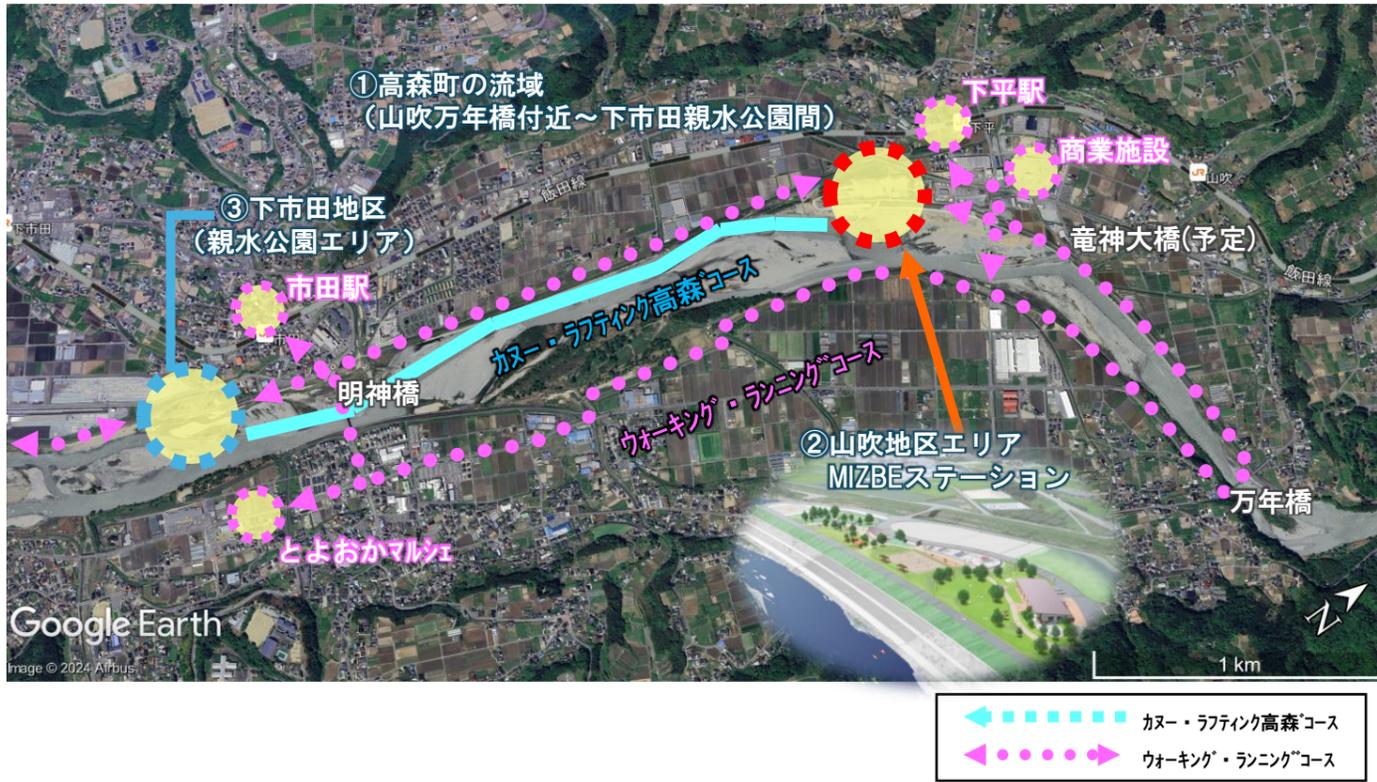
基本方針2 川から学ぶ機会の提供

川や水辺への親しみを通じ、天竜川を取り巻く自然環境や天竜川の水害の歴史、水災害等について学ぶ機会の提供や、実際に触れる体験の場を提供します。

基本方針3 川を通じた人の交流

高森町や南信地域の資源（スポーツ施設、自然資源等）を結び、地域連携したアクティビティを通じて、世代間・地域間の交流促進を行います。

3. 計画全体像と取組内容



取組イメージ①

高森町の流域（山吹万年橋付近～下市田親水公園間）

○カヌー・ラフティング高森コース

・毎年開催している全日本天竜川カヌー競技大会のコースの一部である山吹万年橋付近～MIZBEステーション区間～下市田親水公園区間をカヌーやラフティング等のダウンリバーのコースとして設定し、民間事業者とも連携し、リバースポーツによる賑わいを創出します。



○天竜川堤防道路を活用したウォーキング・ランニングコース

・山吹～下市田まで連続した勾配の少ない堤防道路をウォーキングやランニングコースとして活用します。車の通行が少なく、伊那谷や天竜川を含めた景観を楽しむことができる健康づくりの場として活用の検討を行います。
・サイクリング事業者との連携で、サイクリングロードとしての活用も視野に検討を行います。



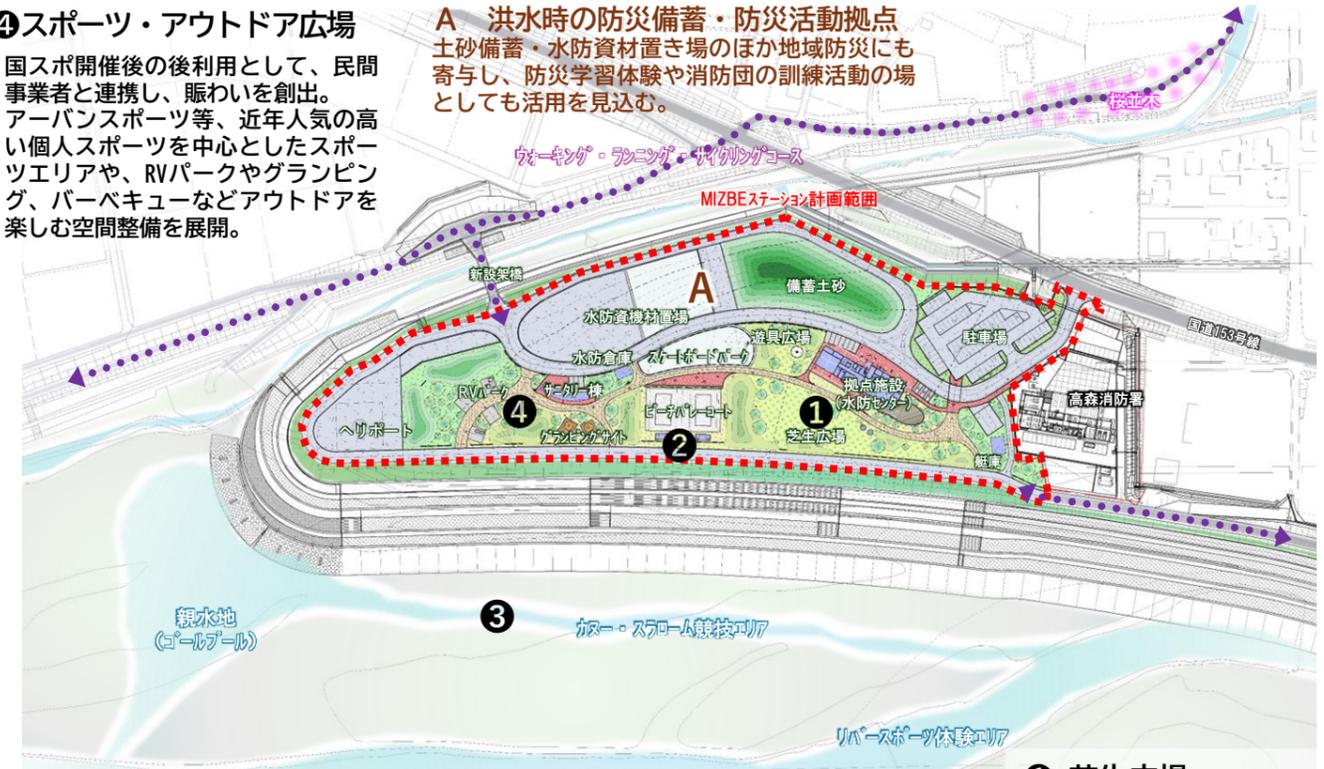
取組イメージ②

山吹地区（MIZBEステーション）エリア

④スポーツ・アウトドア広場

国スポ開催後の後利用として、民間事業者と連携し、賑わいを創出。アーバンスポーツ等、近年人気の高い個人スポーツを中心としたスポーツエリアや、RVパークやグランピング、バーベキューなどアウトドアを楽しむ空間整備を展開。

A 洪水時の防災備蓄・防災活動拠点
土砂備蓄・水防資材置き場のほか地域防災にも寄与し、防災学習体験や消防団の訓練活動の場としても活用を見込む。



③カヌースラロームコース

長野県カヌー協会と連携したカヌー体験やカヌー教室など、国スポ開催に向けた機運の醸成民間事業者との連携によるリバーアクティビティの提供
ゴールプール：水に親しみやすい空間の創出

②ビーチバレーコート
ビーチフィールドスポーツの体験を通じた国スポ開催に向けた機運醸成

①芝生広場

整備予定の拠点施設（水防センター）と連動した空間として整備。多世代が憩いの場として過ごすことのできる公園空間として整備し、賑わい創出へ。

取組イメージ③

下市田地区（親水公園）エリア

下市田地区の堤内地にある河川公園である親水公園は、水辺に親しみやすい空間がすでに整備されていることから、これを活かし、川へのアクセスのしやすさや、芝生の広場を活用した取組やイベント、社会実験を通じて賑わいの創出を実施します。

